

# 「在宅就労セミナー 2022」開催

社会福祉法人 東京コロニー 東京都葛飾福祉工場  
〒125-0042 東京都葛飾区金町 2-8-20

## 助成事業の概要

当団体が毎年開催している「在宅就労セミナー」は、障害等の理由により通勤や就業時間に制約のある人たちが、「自分で」「身の丈に合った働き方で」就労することを目的に結成された「在宅就労グループes-team (エス・チーム)」のメンバーが自ら企画し毎年実施しているものである。今年度で延べ18回の実施を数え、関係者が一堂に会する貴重な研修機会と位置付けてきた。新型コロナウイルス感染拡大防止の点から過去2年度間はフルオンラインで実施していたが、今回は都内の会議室+オンラインの「ハイブリッド型」で実施し、約30名が集う研修となった。

**実施日** 2022年11月9日(水) 13:30~15:00

**内容** セッション1 報告「在宅就労グループes-team2021年度活動報告」  
セッション2 講演「弱点を武器に進化する～凡オプロデューサーの逆転発想～」

講師 中村 元 (はじめ) 氏 水族館プロデューサー、集客観光コンサルタント、日本バリアフリー観光推進機構理事長

参加者 在宅就労者、これから在宅就労を希望する人、支援団体関係者等30名

## 事業の成果

セッション1においては、昨年度における在宅

就労グループ「es-team (エス・チーム)」の活動報告を行った。あわせて、主催者及び出席したメンバー (在宅就労者) からの近況報告や、これから在宅就労を希望する人向けに、就労環境や在宅就業障害者支援制度の現状などの説明があった。

セッション2においては、水族館プロデューサー、集客観光コンサルタントのほか、日本バリアフリー観光推進機構の理事長もつとめる中村元氏 (なかむら・はじめ) 氏を講師に招き、かねてからビジネス界で一線級の活躍をしている人の話を伺い、自分たちの分野にも生かしていきたいというこれまでの参加者の声を反映する形となった。講義の中では、「弱点を利用して進化する」には、「弱点を認識」し、それを克服するのではなく、優位に使う (武器とする) こと。そして、「長所は長所のライバルがない所で使う」ことや、「メディア戦略」についてお話しいただいた。「北の大地の水族館」「サンシャイン水族館」「伊勢志摩の観光」の事例が取り上げられ、1.弱点をそのまま武器にする。2.弱点を淘汰圧 (進化圧) にして進化する。3.長所は伸ばさず使う。について、その理由や、実施した展示内容などを解説していただく事で参加者一同が理解を深めていった。ほかにも「伊勢志摩バリアフリーツアー観光」の立ち上げの話の中で、「伊勢に行くとは車いすだらけです。」との話があった時に、多くの参加者一揃ってうなずいていたのも印象的だった。それまで障害を持って外出していなかった地元の人たちが、町がバリアフリーになると外出が楽しくなったという話と、そういう町づくりに成

功した事で、バリアフリー観光のシステムが全国に広がりはじめたという話であった。こういったバリアフリーの町づくりが、全国に広がることを嬉しく感じた参加者も多かったと思う。また、中村元氏の「弱点を武器にする」を視点にした数々の業績には、みんなにとってより良い状態になる事を考える事で、水族館では、そこに展示されている魚や海の生物にとっても、少しでも良い環境にしていく取り組みでもあったと思った。中村氏のこのセミナーで最後に話した「皆さんも必ず、もっと面白い道を見つけられるのではないかと期待をしています。」の言葉からも、多くの参加者に勇気や仕事のヒントを与えてくれたと思う。また、弱点があるからこそ、そこから進化する可能性を感じられたと考える。

## 成果の広報・公表

成果報告として当事業所のWebサイトに掲載するほか、そのソースとなった情報等も可能な限り公開する。当事業所の広報媒体などにも掲載し、在宅就労という働き方の現状についてさらに関心が高まっていくよう取り組んでいく。在宅就労セミナーと銘打った企画を毎年実施してきたが、このセミナーの大きな特徴として、障害のある在宅就労者が自ら企画し、事前告知や当日の進行、収支計算等も行っていることあげられる。ほかにも、講師との折衝を重ねたり、成果を報告にまとめたりと、在宅就労の実践者として、自らの経験値を伝え、さらなる普及に貢献する機会としての側面も、このセミナー実施の大きな成果であるといえる。

## 今後の展開

参加者からは「毎年このセミナーに参加し、貴重な話を聞いている」といった声や、あるいは「才

ンライン形式になってから参加しやすくなった」という意見があった。一方で参加人数などがここ数年一定で伸び悩んでいることなどが懸念としてあげられる。今回の講師は業界の第一人者として全国区で活躍している人であり、コロナ禍による制限もあったとはいえ告知や参加呼びかけには一層の工夫が必要であったと感じている。規模の拡大を望む研修ではないが、在宅就労を希望している人やその支援者などさらに新しい層にも告知していくことで、今後もより充実したセミナーを実施していきたいと考えている。いずれにせよ、参加者からは継続を望む声も多く、在宅就労者自らがオンラインで顔を合わせながら企画・準備、講師との折衝を行っており、こうした特徴も活かしたく、今後も「在宅就労」に必要なテーマ、スキルや経験値の共有を図るべく、継続と発展を期していきたい。